

スポ推よこすか



発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 武 雅兄

平成26年6月1日 発行

平成26年度総会

4月18日（金）ヴェルクよこすかにて、平成25年度年度末・26年度新年度総会が開かれ、89名の出席者、164名の委任状提出のもと、審議が繰り広げられました。25年度の事業・決算・監査の報告、26年度の事業・予算案の審議後、承認されました。また、横須賀市教育振興基本計画第2期実施計画の初年度になることも踏まえ、スポーツ推進委員協議会としてもガイドラインに示すとおり、各事業はもちろん、「理解してもらえるように話すプレゼンテーション能力」・「組織を運営するマネジメント能力」・「事業（イベント）の企画実行力」・「種目スポーツ指導員資格」・「指定管理主任」・「好奇心と向上力」・さらに、「社会人としてのマナー」などが求められていきます。我々の役割も、地域の方々の要望を聞き、それに対応できるように各研修会や講習会に参加し、資質の向上を図らなくてはなりません。そして、神奈川県連合会としても全国連合に再び加入という事もあり、益々の広範囲事業の参加もあります。色々な方々と交流を図り、各々学区地域へも反映させましょう。

この総会の日には、25年度の地域体育振興功労者及びスポーツ推進委員感謝状贈呈式も教育長出席のもと開かれました。各受賞者は下記の方々です。

地域体育振興功労者感謝状受賞者

船越 学区	後藤 勝 様
公郷 学区	鈴木 修 様
根岸 学区	北橋 勉 様
粟田 学区	青柳 七郎 様

スポーツ推進委員感謝状受賞者

船越 学区	金子 高司 様
長浦 学区	鈴木 昭仁 様
公郷 学区	所畑 邦子 様
小原台学区	小淵 鉄男 様
大楠 学区	梶谷 善郎 様

各受賞者の皆様、おめでとうございます

写真・記事 広報部部长 原 暁彦（長浦）



着実に広がる新しい力

5月17日（土）、諏訪小学校ミーティングルーム・体育館にて、スポーツ推進委員新任研修会が行われました。今年度は委員の任期更新の年ではありませんでしたが、新任、過年度未受講者、役員あわせて24名が参加。始めにスポーツ課三橋課長より「非常勤職員としてのスポーツ推進委員」、次に武会長による「横須賀市スポーツ推進委員協議会の活動」の講義があり、スポーツ推進委員の心構え、協議会の事業などの説明がありました。何でもやってやろう、覚えようとする好奇心、向上心を持つ事、楽しみながら参加・指導をする事が大切だという事を学びました。第二部は4チームに分かれ、ソフトバレーボールを体験しました。トスやパス、サービスの練習では初めての人もいましたが、ゲームになると力も入り、いつの間にか熱気ムンムンの試合になっていました。最後の第三部では常任理事がコーディネーター役になり、「役割の確認」「やりたいこと」についてグループ討議を行いました。体育振興会と協議会のかかわりなどについては、学区での行事に係るとともに市協議会にも少しずつ係っていききたい。高齢者のできる行事、小学生の子供たちを中心とした行事など地域に根差した活動をしていく。実際に体験したり、常任理事からの助言で、ニュースポーツは誰でも出来ると感じ、競技ばかりでなく、企画や運営も関わってみたいとの声などが出されました。今年で5回目の研修会で新しい力が広がるのを強く感じました。



記事・写真

副会長 林 但（富士見）

普通救命講習会

5月24日（土）横須賀アリーナ第1体育室にて、普通救命講習会が開催されました。スポーツ推進委員を対象とし、12名が受講しました。応急手当講習テキスト改訂4版を使用し、内容は座学・実技（胸骨圧迫、AEDの使用）で、委員の中にはすでに受講された方も大勢いますが、私は初めての経験で、手際よく出来るか心配でした。（案の定、手順や胸骨圧迫のやり方など、何度も講師の指導・助言を頂きながら終了しました）しかし、講義終了後、講師の方より「失敗を恐れない、何もしないのが一番良くない（悪い）」の一言で、心配も吹き飛びました。何よりもその場に居合わせた人が行動（応急手当＝救命処置）することが大切であることを認識させられた、非常に有意義な講習会でした。



記事・写真 岩松 芳宣（豊島）

新体カテスト派遣事業

5月2日（金）、望洋小学校にて、3～4年生を対象に新体カテストが実施されました。

スポーツ推進委員が各測定員を務めたのは、体育館では上体起こし（大塚台学区・吉田 稲一氏）、反復横とび（高坂学区・加藤 努氏）、グラウンドでは、立幅とび（森崎学区・臼井 喜八郎）、ソフトボール投げ（馬堀学区・武 雅兄氏）であり、3年生と4年生二人一組となり、お互いの記録を記帳し合うのは従来通りです。当日の測定最後の種目は、シャトルランでしたが、そのシャトルランにはスポーツ推進委員は測定員としての務めはなかったが、他の種目が予定より早く終了したことから、シャトルランを自然と皆で見学する形となりました。

グラウンドに20メートル間隔で平行に引かれた白線の東側の線上には、前列に4年生、後列に5年生が横一線に整列し、その実施方法について、担当教師から説明がありました。横一列に整列した児童の姿は、一人ひとり小さく幼くとも、各約100名とまとめれば、実に壮観な眺めであり、そして一気に走り出す姿には感動すら覚えました。

小学生のこの「新体カテスト」に携っていつも感じるのは、ほとんどの児童が一生懸命各種目に取り組んでいて、手抜きはしない、すこぶる素直な児童が多いと云うことです。

横須賀市の小学生の体力は、昨年度測定結果によると、全国平均と比較して、あまり芳しくないとのこと。そうであれば、その原因は何処にあるのでしょうか？

横須賀には大楠山をはじめ、幾通りもの丘陵のハイキングコースや海岸や磯辺があり、足腰を鍛えるのに持ってこいの地です。この三浦半島の優れた地勢をうまく児童の体力向上に利用できないものでしょうか？



シャトルランの様子

横須賀の児童の体力や精神力が、他市や他県の児童のそれと比べて劣っているとはとても思えないからです。

さて、これからも、良い結果が出れば笑顔で喜び、そうでない時はちょっと寂しげな児童の屈託のない姿と共にひと時を過ごしましょうか。

記事
写真

広報部
会長

臼井 喜八郎（森崎）
武 雅兄（馬堀）

夏島学区健民運動会

今年も恒例の健民運動会が、晴天の5月11日（日）に夏島小学校グラウンドにて行われました。夏島学区体育振興会では、本年度の最初で最大の行事でした。

体育振興会の委員の他、夏島小学校から校長先生・教頭先生・先生方・PTAのお父さんお母さん、スポーツ推進委員等の協力を頂くとともに、朝早くにもかかわらず、大村県議会議員・石山市議会議員にもご参加いただき、参加者320名と盛大に実施できました。

夏島小学校のグラウンドは昨年11月に整備され、石拾いの手間もなく準備が整齊とできました。ラジオ体操から始まり、午前には玉入れ・キャタピラリレー・綱引きなどの他、未就学児童も親子ペアで参加できる競技などを実施し、最後にアメ探しを行いました。子供達は顔が白くなるのが嫌なのかあまり顔を入れませんでした。校長先生はメガネを外し、思い切り白くなって盛り上げてくださいました。午後は大玉運び・スプーンリレーなどを行い、最後には高学年から大人対象の混合リレーで大いに盛り上がり、全18の競技を無事に終えることができました。夏島学区体育振興会では、健民運動会の他、PTA主催のキッズフェスティバルで体力測定を行う等、今後とも子供達とのふれあいを大事にし、子供達と顔見知りになるよう心掛け、安全・安心の街づくりの推進に役立って行こうと考えています。



記事
写真

小菅 弘子（夏島）
武 雅兄（馬堀）

<http://sukataishi.jp>

ホームページはこちら

編集後記

今年度の各事業も始まりました。学区対抗児童・成人球技大会や、ソフトバレーボール大会などの際には、水分補給をこまめに取り、熱中症対策しましょう。

広報部